

近年、医療の進歩には目を見張るものがある。医薬品はもとより、医療機器もその例外ではない。そこで、新薬、ジェネリック医薬品をはじめ、各種ディスプレイ医療用具、ME機器、診断薬、人工臓器に至るまで、医療分野の幅広い領域で画期的な製品を世に送り出してきたニプロ(本社大阪市、社長佐野實氏)の長田公典人事総務部部長代理に、企業が期待する薬剤師像を聞いた。



ニプロは、医薬品分野への進出が最近目覚ましく、積極的な投資を行っている。同分野には、研究開発、MR、生産、販売管理、品質管理、安全管理、申請業務、知的財産管理など、薬剤師の活躍の場は多数ある。具体的には、統括製造販売責任者や生産工場の管理



医療機器・医薬品メーカーが期待する薬剤師像

ニプロ 人事総務部部長代理 長田 公典氏

かつて調剤薬局には、新店舗を作れば儲かるというような時代もあったが、全国的に見れば医薬分業は頭打ち。数年来の医療費抑制を反映し、調剤薬局経営は厳しさを増している。そこで目指すは、地域で「患者さんに選ばれる薬局」であり、その実現を模索している段階だ。焦点は「薬局の質を上げる」こと、言い換えれば「薬剤師の質を上げる」ことだ。いま大きな変革期を迎えている調剤薬局が期待する人材とは――神奈川、東京を中心に調剤薬局を展開する望星薬局人事部の浦本太郎氏に、調剤薬局への就職を目指す人へのアドバイスを聞いた。



従来の調剤薬局業務では調剤技術に重点が置かれていたが、いまや患者とのコミュニケーション能力を含め、薬剤師としての情報提供、サービスができるかという点に移りつつある。もう少し正確に言えば、「高い調剤技術は当然で、その上に“患者さんの心のケア”という面まで求められている」と、浦本氏は薬局業務の変容を指摘する。

この薬剤師としての情報提供、薬剤師らし

いサービスとは何なのか。「まず、相互作用など処方せんのチェックは当然として、生活者として患者さんを見ること。つまり、体質や食事などを含めた個々の生活環境と薬との関係性をみて、適切な対応をとる」ことだという。

最近では薬剤師の活躍の場が、薬局の外へと広がっている。高齢化の進展、入院の日数制限が厳しくなる中で、自宅(在宅)で療養する患者が増えてきた。医療提供施設として規定された「薬局」も、改めて在宅医療、いわゆる地域医療への積極的な貢献が求められている。

浦本氏は「薬剤師の目で見、主治医に対して服薬中止や処方変更を求める場合もあ

向上心高い意欲的な人 自分にフィットする職場を

り、より幅広い知識が必要になります」と話しており、卒業してからのほうが勉強は大変のようだ。

変わりゆく調剤薬局だが、具体的にはどういう人材が望まれているのか。

浦本氏は「当社でいえばコミュニケーション能力などは、社員教育の一環でも取り入れているので、高いレベルは要求しません」とし、それよりも「やはりやる気、バイタリティー、向上心が高い人。そして医療は患者さんのためという意識を持った人が求められると思います」という。

薬局を選ぶ際のアドバイスも一言。「人事担当者が、自社の悪口などを話すはずがない。だから中に入って、実際の雰囲気を感じ、自分に合うか見極めてほしい」

調剤薬局が期待する薬剤師像

望星薬局 人事部 浦本 太郎氏



人事担当に聞く

この分野でも薬剤師の腕の振るいどころは多い」と強調する。

さらに、同社の医薬品受託製造事業は、大手の製薬企業から販売されている製造(OEM)も数多く請け負っている。また、海外に拠点を持つグローバル企業のOEMや当該国の工場視察などにも対応しなければならないため、工場の管理薬剤師には「語学力のほか、海外からの視察など重い責任に耐え得るプレッシャーに強い人」が求められるという。

「研究者は人と違う発想のできる人、MRは社交的な人など、部門によって求められる人材のタイプは異なる」と適材適所の薬剤師像を説明した上で、「当社の場合は、その人のタイプにあった活躍の場を提供することができる」とアピールする長田氏。最後に、企業に就職を希望する薬学生に向けて「医薬品以外にも、医療経済学、統計学、薬事法など幅広い知識を習得してほしい。これからの製薬企業は海外展開が重視されるので、語学力も不可欠」とアドバイスを送った。

ACRONET <http://www.acronet.jp/> 人財開発および臨床ITに強いCRO

ACRONETは「医薬品企業のベストパートナー」を目指しています。

医薬品企業の臨床開発における課題(「スピード」「クオリティ」「セーフティ」)解決を提案できる専門家集団を目指しています。また、顧客から「依頼してよかった」と愛され、従業員からACRONETで働いていることを「誇りに思える」ヒューマンカンパニーを展開していきます。

Fルサービスが提供できる真の「総合CRO」を目指しています。

臨床試験支援業務のフルサービスを提供、かつ臨床ITを駆使して「専門性」、「コンサルティングスキル」、「グローバル化に対応できる能力」を有し、顧客に対して高品質(一受託業務の確実な履行だけでなく、新たな付加価値を提案)な成果が提供できるような総合CROを目指しています。

CRO業界の「オンリーワン企業」を目指しています。

当社でしか実現できず、他の追随を許さない「これぞACRONET」といわれる項目を下記3点で設定。各々でトップを目指していきます。【1.多様性のある優秀な人財の輩出率、2.臨床ITコンサルティング力、3.高品質の成果提供と顧客リピート率】

日本CRO協会正会員 伊藤忠商事グループ企業 〒112-0002 東京都文京区小石川1-3-25
株式会社ACRONET TEL: 03-3830-1122 FAX: 03-3830-1155
URL: <http://www.acronet.jp/>



▲モニタリング風景



▲データマネジメント風景



▲事務所外観

企業概要

- 設立/2003年7月1日
- 資本金/1億円
- 代表者/龍松 尚
- 売上高/12億円
- 従業員数/165名
- 事業内容/モニタリング業務、データマネジメント、統計解析、臨床システム、教育研修
- 事業所/東京本社、大阪オフィス

待遇と勤務(2007年度予定)

- 初任給/大卒201,000円(修士220,300円)
- 手当/通勤手当・時間外手当
- 昇給/年1回
- 賞与/年3回
- 勤務時間/9:00~17:15
- 勤務地/東京、大阪

お問い合わせ先

- 人材開発部 採用担当(recruit@acronet.jp)